



ふ・わ・あい

高校生除雪ボランティア隊 出動です

1月30日（土）、荒砥高等学校の生徒と教職員、役場職員が、ひとり暮らしの高齢者宅で、除雪のボランティアを行いました。今年、52名のボランティア登録があり、75歳以上で玄関口や軒下などの除雪に支援が必要とする高齢者宅5世帯を訪問しました。当日は、雪が降りしきる中、スコップやスノーダンプを使い、慣れない手つきながらも一生懸命に積雪を片付けていました。



地域の自主防災組織にも協力をいただき、除雪機を利用しての除雪を行いました。屋根にかかるほどの積雪や、時には雪で足を取られ、思った以上に除雪が進まず、時間がかかる活動となりました。それでも高校生の皆さんは、「高齢者が除雪するのは大変だ」「ひとりで除雪を行うのは危険だ」等と、少しでも自分が誰かの役に立つことができたらという思いで頑張ってくださいました。

高齢者からは、「いや、助かった」「屋根に届きそうなどころ、みな（全部）きれいにしてもらった」「寒いどころ、わりがった。おしよしなな」と、とても嬉しく何度も感謝の言葉を伝えていました。寒い中、皆さんありがとうございました。

この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



除雪ボランティアをして、自分の地域とは比べものにならない雪の量で驚きました。雪は重く、冷たかったが「ありがとう」の一声で、心があたたくなりました。

次もやってみたいです。



とても疲れました。でも、人のためにやることで、おじいちゃん、おばあちゃんのたくさんの笑顔が見れました。

地域の皆さんと関わる機会がありません。今回のボランティア活動を通して、地域の方と関わる事ができました。少しでも地域の方々の力になれたのなら、とても嬉しいです。

家では、祖父や父に任せっきりで除雪の手伝いをしていませんでした。今回自分が除雪を行い、力があることを知りました。これからは、私も家の除雪手伝いをしたいと思います。



除雪の作業は、予想以上に大変で非常に大苦戦しました。ですが、その分、終わった時の達成感は半端なく清々しい気持ちになりました。

除雪ボランティアは、他の県ではできない、雪国でしかできない貴重な体験です。このような機会は、しっかりと残しておくべきだと改めて実感することができました。



除雪活動を終え、高校生から感想が寄せられていますので、一部紹介します。



友達と協力し合いながらできたので良かったです。困っている人の役に立てるのは、とてもいいことだなと思ったので、これからは困っている人がいたら、積極的に助けに行きたいです。

自分の家よりも雪が多くて驚きました。いつも除雪をするので、今回の除雪ボランティアも楽しくできました。また、訪問先の高齢者がとても親切にしてくださり、またお手伝いさせてくださったいなあと気持ちになりました。

機会があったら、自分から率先してボランティアを行っていききたいと思います。

企業の地域貢献活動を紹介

2月10日(水)、11日(木)、12日(金)、20日(土)の4日間にわたり、企業ボランティアによる除雪活動が行われました。活動いただいた企業は、有限会社山栄測量設計、株式会社鈴木工務店、衣袋建設株式会社、共栄建運株式会社、那須建設株式会社の5社です。

事前に現場確認を行い、必要な資機材や重機、活動人数の調整がされ、当日は、家全体が雪で覆われ、玄関から雪山を超えなければならぬ高齢者宅や、屋根からの落雪により軒先まで届く高さの高齢者宅等で、総勢30名が6世帯の除雪活動を行いました。

ガスボンベの安全確保や、積雪による窓ガラスの破損、雪庇による屋根の破損を防ぎました。プロフェッショナルな重機操作によって、手際よく片付けられました。(敬称略)



衣袋建設株式会社



共栄建運株式会社



有限会社山栄測量設計



那須建設株式会社



株式会社鈴木工務店

善意銀行、各保育園に あたたかいご寄付等ありがとうございました。

(令和2年10月1日～令和3年3月12日まで) (順不同)

【善意銀行へ】 鈴木 しげ様 タオル50枚 金田きよ子様 衛生用品

【さくらの保育園へ】

金田 賢一様 大豆(豆まき) めがね魚店様 豆菓子
 (有)花ショップポピー様 フラワーアレンジメント体験 横山 聡様 啓翁桜
 守谷美年子様 乳児用ちり紙

【ひがしね保育園へ】

ほっこり農園 白鷹様 にんじん掘り体験 羽田はるみ様 初釜体験
 平井有希子様 書き初め体験 紺野 邦夫様 だんごの木
 丸ト建設株式会社様 木片(木工作品制作用)
 (有)花ショップポピー様 フラワーアレンジメント体験 カルピス株式会社様 カルピス
 ものづくり実験室モノラボ様 ネーム入り歯ブラシ入れ

【放課後児童クラブへ】 守谷美年子様 食器類

各種相談窓口のご案内

～困った時は迷わず、すぐにご相談ください。

福祉サービス利用援助事業 ☎ 0238-86-0150

認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方などで、福祉サービスを利用したいけど手続きが分からない方、お金の管理や引き出しが出来なくなってきたなど、日常生活に不安がある方の相談や関係機関へのつなぐお手伝いをしています。

【サービスの内容】

- 福祉サービス利用に関する情報提供、利用または利用を止めるために必要な手続き
- 日常的な金銭の出し入れのお手伝い(公共料金や税金等の支払い、医療費の支払い等)
- 大切な書類等の預かり(貸金庫でお預かりします。)

【サービス利用料】

1回あたり 1,500 円(約1時間程度、交通費含む)

【サービス契約】

利用者、白鷹町社会福祉協会、山形県社会福祉協議会の3者で契約します。

※詳しい内容をお知りになりたい方、ご相談は社会福祉協議会までお問い合わせください。



生活困窮などに関する相談窓口

仕事のこと

- ・仕事が続かない ・仕事が見つからない
- ・働く意欲はあるが自信がない など

生活のこと

- ・社会にでるのが怖い ・今日食べる物が無い
- ・周囲に頼れる人がいない など

お金のこと

- ・家計のことで悩んでいる
- ・家賃や公共料金の滞納がある
- ・収入と支出のバランスが崩れている など



健康のこと

- ・重い病気になってしまった
- ・こころの病気で働けなくなった
- ・入院費用の支払いなどが不安 など



場 所 / 白鷹町健康福祉センター内

相談日 / 月曜日～金曜日(祝日を除く)

受付時間 / 午前8時30分～午後5時15分

相談方法 / 事前予約をお願いします。

相談窓口 / 西置賜地域生活自立支援センター

生活福祉資金貸付制度のご案内

この貸付制度は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などに対し、必要な相談支援を行い、経済的自立と生活の安定、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となり、県社会福祉協議会が実施主体となって、無利子または低利子で資金の貸付をします。

- 【資金の種類】総合支援資金 …失業などにより世帯の生活の維持ができなくなった など
 福祉資金 …日常生活を送る上で、一時的に必要と見込まれる費用 など
 緊急小口資金 …緊急に一時的に生計の維持が困難となった など
 教育支援資金 …高校・短大・大学・専門学校の就学費用

※総合支援資金と金緊急小口資金の利用をする場合、生活困窮の相談窓口と一緒に支援をしていきます。詳しいことは、お問い合わせください。

※教育支援資金の申請希望の方は、入学金等の納付期限締め切り間際の申請にならないよう、できるだけ早めの申請手続きをお願いします。